

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 2月 20日

事業所名：わくわくクラブ（新松戸南校）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	・運動、個別支援 集団活動でスペース が分けられている	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	0		・突然の来室受け入れ時は声かけをしながら 確認と対応を行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	0	・教室会議を中心に 随時出し合っている	・会議以外の改善点について常に話し合いが 出来る状況を継続していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	・毎年実施している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	・毎年ホームページ にて公表している	・発信方法や時期の周知にも 力を入れていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	1		・第三者による評価は実施していない ・それに代わることを法人内で継続していけるようにする
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・社内研修、事業部ごとの 研修等がある	・外部の研修にも引き続き積極的に参加していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	・教室会議で話し合いを した上で決めている	・今後もアイディアを出し合いながら 決定していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・日替わり活動を実施 ・担当者を固定にしない工夫	・会議等で話し合い、違った角度からのアプローチを 継続していけるようにする
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	・長期休みにはその時に しかできない活動を取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・基本の流れがあり 個別、集団の活動を 組み合わせている	・引き続き組み合わせを検討しながら作成していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・毎回ミーティングを 実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	・支援終了後細かく記入し 次回につながるよう書き方 も工夫している	・共有された情報を次回の支援につなげられるよう 意識していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	・定期的実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0	・積極的に連絡をするようにしている	・テスト期間や早帰りの日の確認を継続する ・本人の様子に配慮していけるようにする
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	1	・現時点で該当児童なし	・必要に応じておこなえるよう検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	・園によっては共有が難しいケースもある	・必要に応じて行えるよう準備しておく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	0		・必要に応じて行えるよう準備しておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	3	・コロナ禍のため難しい	・元々このような機会を作ることが難しい面があるが検討していく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	3	0	・機会があれば参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・提供票や電話相談面談等で実施している	・今後も必要に応じニーズに合わせた形で継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	1		・ペアレント・トレーニングまではいかないが困りごとに対する助言は随時行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	・契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	・希望に応じて実施している	・引き続き継続していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	0	・コロナ禍のため難しい	・わくわくカフェの再開等を検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・すぐに対応している	・引き続き継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	・ホームページやメールで情報発信をしている	・おたよりやブログ等様々なツールで発信していけるようにする
	35	個人情報に十分注意している	6	1	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	・視覚的な情報も多く取り入れている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2	・コロナ禍も影響し機会がない	・個人情報の観点から難しい面もあるが検討していきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	0		・保護者へ周知するには不足している部分があるため 今後検討や改良をしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	・様々な災害を想定した 訓練を実施している	・年2回以上様々な訓練を企画しているので 周知していくようにする
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0	・毎年必ず全員が受講 する機会を作っている	・今後も継続し、教室として虐待防止に努める
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	0	・現状対象者なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	0	・把握して対応出来ている	・引き続き継続し、情報共有の 徹底がなされるようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	・記録を全員で共有し 再発防止につなげている	・ミーティング等で共有出来る機会を増やし 引き続き再発防止に努めていく